

千住博

高野山金剛峯寺

襖絵完成記念

日本の美を極め、
世界の美を拓く

SENJU HIROSHI

COMMEMORATING
THE COMPLETION OF FUSUMA PAINTINGS
FOR KONGOBUJI TEMPLE, KOYASAN

2019年3月2日 | 土 | - 4月14日 | 日 |

開館時間 | 午前10時 - 午後8時 3月2日(土)は午前11時~午後8時
※入館は閉館の30分前まで

入館料 | 大人1,300(1,100)円、大学・高校生800(600)円、中学生以下無料

※消費税込 ※()内は前売および20名さま以上の団体料金 ※ミネアム/クラブ・オンカードをお持ちの方は()内の料金にてご入館いただけます。
※前売券はそごう美術館、セブン-イレブン、ローソンチケット、イープラス、チケットぴあにてお取り扱いしております。
※障がい者手帳各種をお持ちの方、およびご同伴者1名さまは無料にてご入館いただけます。

主催 | そごう美術館、NHKプロモーション 後援 | 神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会
特別協力 | 高野山金剛峯寺、軽井沢千住博美術館 協力 | アート・コンサルティング・ファーム 協賛 | (株)そごう・西武

そごう美術館

横浜駅東口
そごう横浜店6階

郵便番号 220-8510 横浜市西区高島2-18-1
電話 045-465-5515(美術館直通)
<https://www.sogo-seibu.jp/common/museum/>



SOGO

横浜

電話 045(465)2111 大代表
www.sogo-gogo.com

SENJU HIROSHI

COMMEMORATING
THE COMPLETION OF FUSUMA PAINTINGS
FOR KONGOBUJI TEMPLE, KOYASAN

日本画の
新しい可能性を
模索してきた
千住博の
大規模展

世界的に活躍する画家・千住博が、画業40余年の集大成として障壁画《断崖図》、《瀧図》を世界遺産・高野山金剛峯寺の大主殿に奉納することになりました。本展では襖絵と床の間からなる障壁画44面の完成を記念して、奉納に先駆けて紹介します。あわせて、千住博の初期の作品からブラックライトの光によって表情を変える《龍神Ⅰ・Ⅱ》、近年取り組んでいる「クリフ」シリーズなどこれまでの主要作品を一堂に展覧します。

1 世界遺産・高野山金剛峯寺に奉納される襖絵と床の間からなる障壁画、《瀧図》と《断崖図》

高野山金剛峯寺は、平安時代のはじめに空海(弘法大師)によって開かれた真言密教の聖地。1863(文久3)年に再建された大主殿には狩野探幽、山本探斎等による襖絵が納められています。2015年の高野山金剛峯寺開創1200年を記念して、その中で長年白襖となっていた「茶の間」と「囲炉裏の間」に千住博が新作を奉納します。



高野山金剛峯寺襖絵《瀧図》(部分) 2018年 185.5~367.0×2590.6cm 高野山金剛峯寺蔵



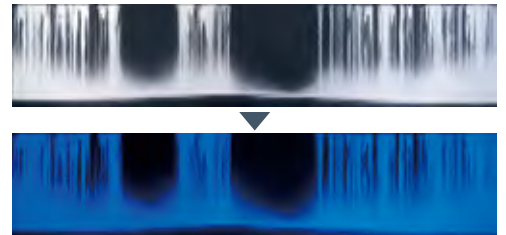
高野山金剛峯寺襖絵《断崖図》(部分) 2018年 182.7×1676.6cm 高野山金剛峯寺蔵



2 2015年ヴェネツィア・ビエンナーレで特別展示された《龍神Ⅰ・Ⅱ》を紹介

蛍光塗料を使うことで、明るいとこでは白い瀧ですが、真っ暗な中でブラックライトを当てると、青く輝きます。昼から夜への変化を表現した幻想的な作品。

《龍神Ⅰ・Ⅱ》2015年 240.0×1140.0cm(各六曲一双)
軽井沢千住博美術館蔵
(2015年ヴェネツィア・ビエンナーレの展示風景)

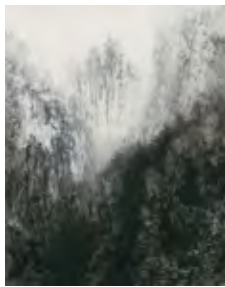


3 初期から現在にいたる代表作約30点で画業40余年を振り返る大規模展

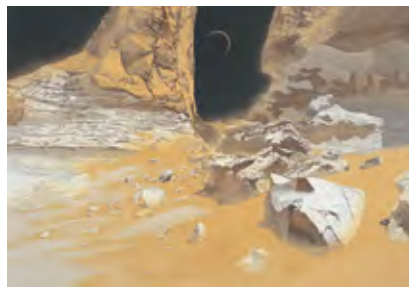
初期から最新作まで主要作品を一堂に展覧し、常に日本画の新しい可能性も模索してきた千住博の世界観をご覧ください。



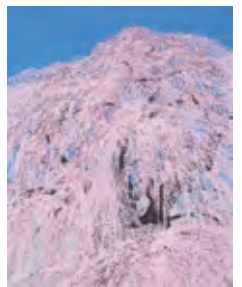
《朝》1994年
81×161cm
日本空港ビルデング株式会社蔵



《断崖図 #2》2012年
227.3×181.8 cm
軽井沢千住博美術館蔵



《月響》2006年
112.1×162.1cm
軽井沢千住博美術館蔵



《三春の桜》2013年
90.9×72.4cm
軽井沢千住博美術館蔵

表面: 高野山金剛峯寺襖絵《瀧図》(部分) 2018年 高野山金剛峯寺蔵 / 高野山金剛峯寺襖絵《断崖図》(部分) 2018年 高野山金剛峯寺蔵



千住博
せんじゅひろし

1958年東京都生まれ。1982年東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業、同大学院後期博士課程単位取得満期退学。1995年第46回ヴェネツィア・ビエンナーレにて東洋人としてはじめて名誉賞受賞。2007年~13年京都造形芸術大学学長、現在同大学院教授、2016年外務大臣表彰、2017年イサム・ノグチ賞受賞。羽田空港アートディレクションなども手掛ける。現在、ニューヨーク在住。

関連イベント

千住博氏によるスペシャルギャラリートーク

日時: 3月2日(土) 午後2時から

軽井沢千住博美術館キュレトリアルディレクターによるスペシャルギャラリートーク

日時: 3月9日(土) 午後2時から

講師: 加藤淳氏(軽井沢千住博美術館キュレトリアルディレクター、京都造形芸術大学 大学院 芸術研究科 教授)

学芸員によるギャラリートーク

日時: 3月16日(土) 午後2時から

会場: そごう美術館 展示室内 参加費: 無料 ※別途入館料が必要です。事前申込不要

※イベントの内容は予告なく変更または中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

次回開催予告 |
サンダーソンアーカイヴ
ウィリアム・モリスと
英国の壁紙展
—美しい生活をもとめて—
4月20日(土)~6月2日(日)